

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」
 ～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

「真の学力」の向上
 ～未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む～

4月

学力向上目標①

○さいたま市学習状況調査の国語・数学の平均正答率を令和元年度よりも3pt以上向上させた値にする。特に、第2学年の「書くこと」領域の正答率を3pt向上させる。

＜目標達成に向けた学力向上策＞

策1

「基礎学力定着プログラム」を参考に、ワークシートを作成し、授業の中で活用していく。

開始期日

5月中

具体的な手立て

- ・令和元年度さいたま市学習状況調査を分析し、実態を把握。
- ・各教科部会でワークシートを作成。(4, 5月)
- ・授業の中で、ワークシートを活用した授業を実施する。(6月中に開始)

2月

本年度の振り返り

- さいたま市学習状況調査が実施されなかったため、以下の内容を行った。
- ・国語の授業では、二つの文章を読み比べたあと、自分の考えを述べる意見文を書いた。さらに、小グループで互いの文章を共有してアドバイスをし合い、文章を客観的に見る力や、他者の意見を批評する力がついた。また、グループ活動を通して、書く事柄を収集し、根拠を明確にして自分の考えをまとめることができた。
 - ・数学の授業では、公式や事象において、その理由を考えることを行った。教科書に記載されている公式だけでなく、そこから変形して導き出せるものや、関数のグラフと図形の関係に気付くなど、知識を活用する力がついた。
 - ・国語、数学共に令和元年度さいたま市学習状況調査の問題を参考に作成した類似問題をワークシートや定期テストに導入し定着状況を確認した。その結果から、多くの生徒が問題を解決する力がついていると考える。

達成度

%

3月

次年度の学力向上目標の柱・ポイント

- ・GIGAスクール構想元年度として、ICT機器を積極的に活用した学習の在り方の確立を目指す。
- ・引き続き基礎学力の向上を目指す。
- ・小・中一貫教育を通して学力の向上を考えていく。